



▽1回戦(青森市営)
青森工 0000 1000 2x0 70
野辺地西 0001 1210 2x0 70
(七回コールド)

野辺西 着実加点 青工打線 勢いなく

(青) 田中、佐々木、上町、今村、木村
(野) 菅野、白石健
▽三塁打 松山(野)▽二塁打 松山、坂本(野)

【評野辺地西は三回、安打と失策で出塁した走者を犠打で進め一死二、三塁とし、細井の犠飛で先取点を奪った。四回以降も失策や四球で出た走者を確実に得点圏に進め、単打などで効率的に加点。七回まで毎回得点でコールド勝ちした。

【青森工―野辺地西】7回を無失点に抑えた野辺地西の先発・菅野―青森市営

第100回 全国高校野球 青森大会 第2日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会は第2日の10日、4球場で1回戦12試合を行った。明の星は八戸水を8―3で破り、創部4年目で夏の大会初勝利を挙げた。七戸はエースが体調不良で途中降板するアクシデントに見舞われたが、5―2で青森東を退け、東奥学園は第5シードの百石を8―4で撃破した。青森北は連合チームで臨んだ三戸・田子を、野辺地西は青森工、青森山田は五戸、八戸工は松風塾、八戸西は青森南、青森商は八戸商を、それぞれコールドで下した。弘前実、三沢、大湊の実力校も、それぞれ五所農林、十和田工、聖ウルスラに勝ち2回戦に進んだ。大会第3日の11日は4球場で1回戦11試合を行う。

(本紙取材班)

打点	振球	失球
⑧	3	0
④	2	0
⑦	1	0
⑤	1	0
⑥	0	0
③	0	0
⑨	0	0
③	0	0
①	0	0
H	0	0
R	0	0
犠	0	0
盗	0	0
2	0	0
投	0	0
管	0	0

青森工は、野辺地西の先発菅野に五回まで無安打。六回に連続安打で好機をつくったが、後続を抑えられ万事休した。

2年菅野 抜群の制球

○：球場に到着したバスを降りてから、寺嶋監督に先発を告げられたという2年生の菅野。「準備はできていたので驚きはなかった。3年生を楽にさせたいと思った」と振り返る。

落ち着いたマウンドさばぎで打たせて取る投球を徹底。「(捕手の)白石健先輩のミットをめぐって投げた」と、自慢の制球力で青森工打線を六回一死まで無安打に抑えた。不運な当たりで無安打投球を逃し「ちょっとがっかり」と苦笑したが「ストライク先行で投げられたことがよかった」と強調。「これで満足せず自分らしい投球をした」と次戦を見据えた。